

教科名	年次	科目名	単位数	使用する教科書
SSH	4-6 年次	地学野外観察	1 単位	なし

科目のねらい

- ・ 野外活動を通じ、教室では経験できない基本的な行動を理解する。
- ・ フィールドワークに必要な観察や記録のスキルを身につける。
- ・ 活動に目的や目標を持ち、自主的な態度で参加する。

目標および評価基準

A	関心・意欲・態度	自然科学や人文・社会科学的な事物・事象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。
B	思考・判断・表現	自然科学や人文・社会科学の事物・事象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
C	観察・実験の技能	野外観察における個人の課題探究を通して、生物の観察方法や教具の操作方法を身に着けるとともに、対象物の様子や観察の記録を客観的に的確に記録・整理し、事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。
D	知識・理解	観察を通じて、自然の事物・現象について、基本的な概念や原理を理解し、知識を身につけている。

年間計画

期	学習内容	ねらいと評価の観点
前期	オリエンテーション 履修内容の確認（評価方法、参加心得など） 履修上の注意点（服装、持ち物）	野外活動時の服装、観察の基本事項などについて確認。 野外実習に必要な道具、服装、心構えを考える。 （オリエンテーションなので評価なし）
	〔野外観察1〕 「観る」・・・バスによる巡検 豊平川沿いの市内各地を観察し、札幌の地形が時間の経過とともにどのようにして形成されたのか考えてみる。日帰り。 ○事前指導 ○実習 ○事後指導	野外巡検を体験し、注意点などを体感する。 豊平川沿いの地質を調査し、札幌の地形形成史について考える。巡検のまとめとしてレポートする。
	〔野外観察2〕 「採る」・・・化石採取地の観察 三笠・夕張地域で化石採取地を観察。日帰り。 ○事前指導 ○実習 ○事後指導	野外巡検を体験し、注意点などを体感する。 採取できる化石やその時代背景についてレポートする。
後期	〔野外観察3〕 「探す」・・・有珠火山周辺での調査活動 有珠・洞爺エリアでの巡検や現地実習をおこなう。一泊二日。資料館や遊歩道、火口付近での実習を含む。 ○事前指導 ○実習 ○事後指導	野外活動を自分たちで計画することを意識し、野外巡検を体験する。火山の基礎などの下調べをもとに、実習に参加する。留学生や他の生徒を火山に案内することを想定した巡検の計画書を作成する。
	実習内容により、成果を外部発表することがある。発表の準備についても指導する。	